

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和5年度・第5回）議事概要

日 時 令和5年（2023年）9月13日（水）14：00～16：00

場 所 宝塚市役所 第2庁舎 1F 会議室A・B

出席者

<まちづくり協議会>

| まちづくり協議会名 | 参加者名・役職 | 参加方法 | |
|----------------------|----------|------|-------|
| | | 対面 | オンライン |
| 仁川まちづくり協議会 | 綿 昭人会長 | ● | |
| 宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 | 川島 昭会長 | ● | |
| 宝塚市良元地区まちづくり協議会 | 平田 武二会長 | ● | |
| 宝塚市光明地域まちづくり協議会 | 前川原 修一会長 | ● | |
| 宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 | 加藤 富三会長 | ● | |
| 宝塚市西山まちづくり協議会 | 久保田 洋一会長 | ● | |
| まちづくり協議会コミュニティ末広 | 豊田 茂男代表 | ● | |
| 宝塚第一小学校区まちづくり協議会 | 山本 敏晴会長 | ● | |
| 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 | 石谷 清明会長 | ● | |
| 宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 | 押条 雅英代表 | ● | |
| 宝塚小学校区まちづくり協議会 | 喜多 毅会長 | ● | |
| 売布小学校区まちづくり協議会 | 岡田 英里副会長 | ● | |
| 小浜小学校区まちづくり協議会 | 藤本 真砂子会長 | ● | |
| 宝塚市美座地域まちづくり協議会 | 糸瀬 豊光代表 | ● | |
| 安倉地区まちづくり協議会 | 岡本 康夫会長 | ● | |
| 宝塚市長尾地区まちづくり協議会 | 阪上 良彦会長 | ● | |
| 中山台コミュニティ | 松下 義弘会長 | ● | |
| 宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 | 安達 みづほ代表 | ● | |
| 宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 | 前田 幸夫会長 | ● | |
| 宝塚市西谷地区まちづくり協議会 | 二井 久和会長 | ● | |

<その他>

市民交流部 加藤部長

市民交流部きずなづくり室 浅井室長

市民協働推進課 新城課長 岡田係長他

公園河川課 雑賀課長、大崎係長、児玉職員

総合防災課 金田課長、橋本係長、岩崎職員
宝塚 23 万人の防災キャンプ実行委員会
上下水道局 下野局長
上下水道局総務課 原課長
上下水道局経営企画課 榎本課長
宝塚NPOセンター 平岩氏、馬越氏
宝塚市社会福祉協議会 前菌課長
傍聴者 なし

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和5年度・第4回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホームページへ公開することが承認された。

2 「宝塚市パークマネジメント計画等」の策定について（公園河川課）

公園河川課より、標記の案について、配布資料に基づいて説明があり、以下の通り、質疑応答があった。

- ア 数年前、都市公園法の改正が話題になったが、今回の「宝塚市パークマネジメント計画等」というのは景観がメインなのか、オープンスペースとしてまちづくりに生かすといった利活用に対してなのか、都市公園法の改正の目的に近いものなのか、どちらが目的なのか教えてほしい。
- イ （市）平成 29 年頃に都市公園法の改正があり、内容としては Park-PFI、公園に民間企業を呼び込む等の許可条件の緩和があったが、この「宝塚市パークマネジメント計画等」については都市公園法の改正を受けてするものではない。この計画では、令和 4 年度に策定した「宝塚市みどりの基本計画」のマスタープランで謳っている「市民ニーズに応じた魅力ある公園の整備・運営・管理」、「街路樹の適正な管理」を実行していこうと考えている。景観、利活用、整備のどれを中心にやるのかについては、今回「宝塚市パークマネジメント計画等」でするものについては、20 全てのまちづくり協議会と公園計画というものを案として作る予定である。まちづくり協議会の区域内の公園の活用、整備、公園が足りているのか足りていないのか、小学校区の中で公園が偏っていないか、といったことを今一度考えてみようと思っている。細かい検討は、令和 6 年度以降にひとつのまちづくり協議会を絞り、細かく話していきたいと考えている。他のまちづくり協議会は、量的に公園が足りているのか足りていないか、偏っていないかということ一度浮き彫りにしたいと思っている。この計画自体は 3 年しかないため、ひとつのまちづくり協議会に絞り、細かくやっていく。

- ウ 保護者目線の意見としては、子どもの声を聞く場を設けられたらありがたいなと思った。
- エ この話は現存の公園についてだけなのか、足りていないとなれば新しい公園も考えることはありか。
- オ (市) まちづくり協議会の小学校区の範域で公園が足りているか足りていないかということをもまず洗い出す。公園の量、位置、面積等を今一度考えたうえで、ある一定の大きい規模の公園が少ないのではないかなど公園の現状を浮き彫りにしていく。公園がなければ作るのかという話については、作っていく計画をしている。宝塚市は公園の数自体は多いが、機能が重複している公園が多い。今ある公園のあり方として、モデル事業として位置づけないと細かくはできないと思うが、今ある公園の機能を変える(具体的には)ボール遊びができる、幼児用遊具に特化する、高齢者向けの健康遊具を置く、ネットワーク的な考え方も含めて今後の計画を作っていきたいと考えている。
- カ そここまで詳しく答えていただけたとは思わず、大変良かった。もうひとつ身近な問題として、民間の樹木を保護樹として指定しているが、適切に管理されていない保護樹について、保護樹なので触れません、といった返事が返ってきて大変迷惑している。保護樹の見直しというのも考えてほしい。
- キ (市) 根拠が法律になるため簡単に言えないが、保護樹に指定しているから簡単に伐採できないというのは確かにあるが、人の土地や周りに影響を与えるような越境であれば、通常の維持管理で剪定できるため、もし疑問があれば公園河川課に聞いてくださいと言ってもらえればよい。
- ク なぜ保護樹にしているのかわからない木がある。もう一度みて保護樹を外していただけるのであれば外していただきたいと思う。
- ケ 自治会はアドプト制度として日常清掃等でお金をもらえるというのがあり、適用されているところが多いということがひとつあると思う。対象施設として都市公園等が約 330 箇所、こども遊園 30 箇所とあるが、このリストは公園河川課で見せてもらえるか。
- コ (市) はい。
- サ アンケートの内容は、まちづくり協議会区域内の公園をまちづくり協議会が把握し、それに対して何かの質問があるということか。
- シ (市) アンケートに関してはまちづくり協議会さん向けではなく、宝塚市民への公園に対するアンケートという形である。
- ス まちづくり協議会として今すぐに何かやらないといけないことはあるか。
- セ (市) 今のところはない。令和 6 年から計画案を作っていくが、一つの公園については細かく何度も調整ということになる。その他のまちづくり協議会についてはそこまでの詳細は難しいと思うが、今後具体的に進んでいったときに戸

惑われることのないよう、本日お話しせてもらった。

- ソ 公園区とは何か。事業みたいなものがあるのか、宝塚市が独自に決めた名前か。宝塚市の小学校区を公園区と位置付けて公園を中心にして考える、その区域のことを公園区と呼んでいるのか。
- タ (市) そうということである。小学校区単位で位置づけて、公園のあるべき姿や機能を考えていこうというのがポイントになる。
- チ 令和7年度の「市民ワークショップなどによるモデル事業の実施」とあるが、令和5、6年度は役所とコンサルで考えるという風に見えるが、令和6年度から広く公募するなり、やる気のある人をワークショップに呼んでほしいと思うがどうか。地域によって現状が違うためモデル地区で全部をカバーできるわけではない。進め方をもう一度考え直していただきたい。もっと早い段階からまちづく協議会が入って地域のまちづくり計画と合わせながら、決めていくことが必要でないか。モデル地区が決まって計画をしていくのではなく、地域によって違うため、やり方を変えてほしい。分からなければ後で説明に行く。
- ツ おっしゃるとおりで、当まちづくり協議会もそういったまちづくりを防災公園という視点でやっているため、いきなり来られて、どうするのか、相談があるのかという話、つまり私たちのまちづくり計画そのものが変わってくる、変えなければならないという事なのか。
- テ まちづくり計画があるのにそれを無視して「宝塚市パークマネジメント計画」をするのか。
- ト (市) まちづくり計画は拝見しているが、まちづくり計画の中で公園に関してそれほど細かい計画はあまりなかったという認識。
- ナ (座長) 時間が迫っているため、この件に関しては、次回に持ち越す。

3 防災キャンプについて（総合防災課）

総合防災課及び宝塚防災キャンプの会から、標記の案について、配布資料に基づいて説明があり、以下の通り、質疑応答があった。

- ア 当まちづくり協議会もとても興味があり、先月防災部長が校長先生にできますかと聞いた。校長先生は前向きに考えてくださったが、教育委員会にだめと言われた。市として防災の取組として推奨していただけるのであれば、こういう条件であれば学校が使えるといったことを教育委員会も一緒に考えていただけるような仕組みにさせていただけるとやりやすくなると思う。
- イ (市) 学校の施設については、宿泊を伴うものを民間に貸し出しということは条例としてだめという形にはなっているが、実施事例もあり、学校側と市と協力する中で、実施していくことについては問題ないと教育委員会から回答を得ているため問題はない。

ウ 10月28日に自治会が主体で防災フェスタとして実施予定。例年、小学校の体育館を借りて実施し、弁当を作ったり、非常食を支給したりするが、先日公園で行った盆踊りのミニ版みたいな炊き出しをして、防災グッズ等の展示をやろうと計画している。

4 まちづくり協議会代表者交流会ワークショップ

市民協働推進課から配布資料に基づいて説明があり、出欠確認及び事前アンケート及へのご協力の依頼があった。

5 地域活動について

(1) 「魅力的・特徴的なまちづくり協議会活動」(多様な世代の参加につながった事例、負担軽減事務効率化を図った事例等)についての紹介・質疑応答(中山台)

【中山台コミュニティ】

(発表)

- ア 中山台コミュニティの2023年の重点課題のひとつは「まちの安心・安全」ということで、「防災委員会」で地区防災計画をコロナ期間に改正してきた。中山台の防災は災害対策委員会というボランティア組織がやっていたが、重要な課題であるということからコミュニティそのものが取り組むということと、各自治会が防災の中心になることが必要であると考え、地区防災計画を大きく改定し「防災委員会」を設けた。これまでは防災訓練を4つの小学校ごとに分けて大きな取組として実施していたが、各自治会で隣近所の人たちがいざ(災害が)起きた時に安否確認等で助け合う訓練を11自治会が中心になってやろうと取り組みを進めている。
- イ まちの活性化については、当地域は少子高齢化のまちで非常に人口も減っていてあまり活気がない。地域の中心にあるコープがコロナ禍を経て再開する「コープ祭り」にコミュニティ及び11自治会が協力して、周辺の商店の人や福祉施設とも一緒になっているいろいろな催しに取り組む方向で考えている。これまでは自治会ごとに祭りをやっていたが、コロナが明けても再開できないところもあるので、地域全体で一つの大きな祭りをやると同時に、祭りだけではなく地域が活性化するような取り組みができればと各自治会、商業施設、福祉施設のみんなで活性化委員会を作って盛り上げていこうと思っている。
- ウ 住民の健康を守るについては、健康推進課から中山台地区はさまざまながん検診を基本的に平均以上で受診しているが、子宮頸がん検診だけは(受診率が)低いということで、健康センターと一緒に取り組んでいる。

エ 上記を進めていくために、まちづくりは自治会が縦軸で、いろいろな部会が横軸になって、縦横マトリックスになってみんなが参加できるようなまちづくりを進めていこうということに今取り組んでいるところである。年に3～4回やっている見守り会議も福祉関係の人が中心で行っていたが、まちづくり全体で取り組んで対応していこうということになっている。

(2) (1)の他、地域活動についての情報共有・意見交換

特になし。

6 地域ごとのまちづくり計画

(1) 地域ごとのまちづくり計画の「対話」「進捗管理」の仕組みにかかるアンケート結果報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、アンケートの結果報告があった。

(2) 「推進シート」「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

宝塚小学校区まちづくり協議会の推進シート、安倉地区まちづくり協議会の推進シート及び対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。

ア 【宝塚】防犯カメラについては何年か前に280台ほど設置すると警察と防犯交通安全課から説明があった。子どもたちの通学路に沢山つけてほしいというのが推進シートの趣旨だが、実は対話の中で宝塚市は防犯カメラにそれほどの価値を見出していないという返事が来た。現在、宝塚市は周辺都市の伊丹・川西市に比べて防犯カメラの台数は非常に少ない。防犯カメラは犯罪の抑止力、検挙率においては非常に役に立っていることは皆さん知っていると思うが、防犯交通安全課から価値を見出していないため今後つける予定はないとこう明言された。予算がなく今は設置できませんということであれば分かるし、今後にも期待が持てるが(そうではなかった)。びっくりして、提案された3か所だけ依頼してあとは何も言わなかった。

イ 【安倉】推進シートを提出して行政と対話していくが、自分たちが思っているような進捗がなかなか見えないというのが現状。高齢者化社会で安全対策に特化して推進していきたいと思っているが、なかなか進まないで終わるのではなく持続的に対話する中でより良い解決策がでてくるのではないかとと思うが、時間は掛かるなという現状である。

ウ 防犯カメラの件で市と話をすると、現在市内にあるのは250台とのことで、某近隣の都市の1/4である。防犯カメラは防犯という視点だけでなく、見守るという視点からも考えると市民の生活を守るために市はきちっとフォロ

一していくというのが道理だと思う。国、県からの助成金を活用して、近隣市は設置して、「日本一の安全なまち宣言」をしたことで、人口が流れている。今の世代は共働きが8~9割で日常生活では目が届かないため、見守りカメラで見守ってほしいという中で、価値観を見出せない、これ以上増やすつもりは全ったくないと言った。正しいことをきちっとやるのが本来のまちづくり協議会の姿だと思うため、各まちづくり協議会で声をあげて、おかしいとやっていくべきだと思っている。

エ 情報として、バスの問題について、阪急バスと直接2回交渉した。6~7年前に1回、昨年ごろに1回、まったく歯が立たない。阪急バスというのは全国の何とか組合という中でも非常に力が強く、高校生がバスに乗りきれない取り残しについて話をした際には、阪急バスは一年生、二年生、三年生の通学時間を変更しなさい、そうすればバスも駅から十分乗れる、と言われた。宝塚市の人も同行してもらったが、黙っておられるだけで対応するすべはないため、バス問題については完全に諦めている。

7 市民協働推進課からのお知らせ

市民協働推進課より、以下(1)~(5)について、周知を行った。

- (1) まちづくり協議会委員推薦について
 - ・共同募金委員会
 - 宝塚第一小学校区まちづくり協議会、逆瀬台小学校区まちづくり協議会
- (2) 宝塚市子育て支援グループ活動促進事業助成金下半期募集要項(子ども家庭支援センター)
- (3) 「緑の募金」へのご協力について(依頼)(公園河川課)
- (4) (※再周知) 市長とのタウンミーティング~山崎市長が皆様のもとにお伺いします~(市民相談課)
- (5) (※再周知) 歩行者優先マーク啓発活動参加希望調査票の提出について

8 料金改定と経営健全化の取組み(上下水道局)

上下水道局より、標記について、配布資料に基づいて説明があり、以下の通り、質疑応答があった。

- ア 表中に「深谷貯水池用途廃止等」とあるが、具体的に何か。
- イ (市) 深谷貯水池は現在使っていない水源であるが、宝塚ゴルフ倶楽部の敷地の中にあるため池で水道の水源として使っていたが今は使っておらず、予備水源となっている。水道としてではなく、総合治水のため池貯留のような形で転用し、維持管理は下水道で行っている。水道事業から切り離すということで今回あげている。

- ウ 小林・亀井浄水場売却をし、売却益の中で運転資金、債務の返済なりと考えていたわけであるが、土より下の部分があることが分かっていたうえで、なぜ結果的には解体費用が売却代金よりも多い、プラスじゃなくてマイナスになってしまうことを読み切れなかったのか。今後、民間に貸すとしても土の下に構造物が残っている以上非常に難しいわけです。値上げは仕方のないとしても今後の対策についても非常にあいまいな形で終わってしまうような感じに思われる。どういう風にお考えか。
- エ (市) 解体費については、当初の見込みが甘かった部分がある。地下構造物が8m～10m ある中で地下水位も高く、仮設費も費用がかさむということが後々分かり、土地の売却代金より解体費が上回るということが計画を立てた後に把握できたというところでそこは非常に反省しております。亀井浄水場は昨年度サウンディング型市場調査として民間事業者意見聞き、土地の有効活用や既存の建物を利用して何か事業ができないかと調査もしたが、既存の建物では有効活用できない、解体するにしても解体費用がかさむということで、具体的なご意見がいただけず苦慮しているところである。今後継続して取り組みを進めてできるだけ早い時期に利活用の説明を地元の方含め公表させていただきたいと思っている。
- オ 料金についてはではないが、テロに対する危機管理を水源、浄水場に対して考えておく必要があるのではないかと思うため、お願いしたい。
- カ (市) 宝塚市は現在、宝塚北高校の南側の惣川浄水場と美座小の近くの小浜浄水場の2つの浄水場を動かしている。小浜浄水場は沈殿池と濾過池、すべて建物の中に入れており、そういったテロ、投げ込み等への対応はできています。すべての施設にセコムも当然入れており、24時間職員もしくは管理業者が監視している。そのあたりは抜かりなくやっており、やっていかななくてはいけないと思っている。ご意見ありがとうございます。

9 宝塚NPOセンターからのお知らせ

宝塚NPOセンターより、以下(1)～(2)について、周知があった。

- (1) れいわの自治会 参加しやすい自治会ってどんなカタチ？令和スタイルの自治会運営を考えるワークショップ
- (2) 助成金の基本やポイントが学べる助成金セミナー ～ひょうご7地域連携講座 IN 宝塚～

10 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

宝塚市社会福祉協議会より、以下(1)～(2)について、周知と依頼があり、以下の通り、質疑応答があった。

(1) OSORAマルシェ ブース出展募集について

(2) 令和5年度 赤い羽根共同募金運動へのご協力について(お願い)

(質疑応答)

ア 共同募金の街頭協力について、実際「赤い羽根共同募金」や「歳末助けあい愛の持ち寄り運動」の公募配分に応募して受け取られた方は参加されているか。

イ (社協) ご案内はしており、可能な団体についてはご参加いただいている。

ウ どれくらいの実績があるか。

エ (社協) 今日は実績を持ってきていない。

オ 私たちが(街頭募金を)行っているところではあまりみたことがない。

カ (社協) いろいろな場所で実施しており、一定ご協力はいただいているが、今日は実績を持ってきておらず、もしよろしければ次回にお持ちする。

キ 一応、応募して受け取ったら協力するというのが条件だったと思う。

ク (社協) それについてはお伝えしている。

ケ どれだけ参加されているか、次回に(実績を持ってきてほしい)。

コ (社協) 承知した。

11 その他

特に無し。

12 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。

以上